

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
31242	水産物部市場維持管理事業	農林水産部	水産市場課	2
31242	水産物部市場施設整備事業	農林水産部	水産市場課	3
31242	水産物部業務運営事業	農林水産部	水産市場課	4
31242	松山市水産市場運営協議会負担金	農林水産部	水産市場課	5

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	水産市場課	担当G	管理担当	連絡先	951-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	二宮 仁志	リーダー	松本 こずえ	担当	大澤 靖広	

1.事業概要【Plan】

事業名	水産物部市場維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営		
31242		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		—	—	—	—		
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		根拠法令	卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則				
施策	事業所立地と雇用創出の推進							
主な取組	流通機能の充実	取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営					
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営							
目的・背景	・公設水産地方卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産地方卸売市場に転換した。							
対象・内容	【対 象】松山市公設水産地方卸売市場及び関係者 【事業内容】松山市公設水産地方卸売市場の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	保安警備業務委託		32,467
予算 (千円)	事業費計	141,752	190,418	200,274			水処理施設等保守管理 業務委託		8,538
	国費・県費								
	市債								
	その他	64,718	99,691	118,854					
	一般財源	77,034	90,727	81,420		清掃業務委託		4,443	
決算 (千円)	事業費計	125,593	139,459			主な 取組 内容 【R5】	・市場施設や設備の維持管理に必要な保安 業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・ 設備の保守点検業務を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	71,977	51,485						
	一般財源	53,616	87,974						
	(執行率)	89%	73%						
人役	正規職員	1.4	1.4	3.2		特記 事項			
	その他			0.2					
	合計	1.4	1.4	3.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	電気使用量の抑制		目標	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	—	
			実績	2,414,761	2,428,610				
	現状維持	KWh	達成率	116%	115%				
成果指標	市場開場日数		目標	254	253	253	254	—	
			実績	254	253				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設の維持管理を適正に行った。							
課題	電力会社等の料金値上げにより、光熱水費が増大している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	水産市場課	担当G	管理担当	連絡先	951-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	二宮 仁志	リーダー	松本 こずえ	担当	大澤 靖広	

1.事業概要【Plan】

事業名	水産物部市場施設整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
31242		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		－	－	－	－		
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		根拠法令	卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則				
施策	事業所立地と雇用創出の推進							
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則					
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営							
目的・背景	・公設水産地方卸売市場の施設・設備等の整備を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産地方卸売市場に転換した。							
対象・内容	【対 象】 松山市公設水産地方卸売市場及び関係者 【事業内容】 ・開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・水産市場の設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する営繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	荷揚場底解体工事		8,098
予算 (千円)	事業費計	134,359	108,752	103,147			関連商品売場棟屋上防水工事		6,833
	国費・県費						卸売棟西側舗装修繕工事		6,415
	市債	73,300		58,400					
	その他	60,959	62,001	38,747					
	一般財源	100	46,751	6,000					
決算 (千円)	事業費計	106,221	55,535			主な 取組 内容 【R5】	・荷揚場底解体工事、関連商品売場棟屋上防水工事、卸売棟西側舗装修繕工事を実施。		
	国費・県費								
	市債	62,200							
	その他	43,972	52,253						
	一般財源	49	3,282						
	(執行率)	79%	51%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.2							
	合計	0.8	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	市場開場日数		目標	254	253	253	254	－	
			実績	254	253				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できた。							
課題	施設の老朽化に伴い、事業費が増大している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の機能維持を図るため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	水産市場課	担当G	業務担当	連絡先	951-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	二宮 仁志	リーダー	河野 浩武	担当	田井野 知史	秋山 賢治

1.事業概要【Plan】

事業名	水産物部業務運営事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		—	—			
施策	事業所立地と雇用創出の推進		—	—			
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	・公設水産地方卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産地方卸売市場に転換した。						
対象・内容	【対 象】 松山市公設水産地方卸売市場及び関係者 【事業内容】 関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業務の許可、指導、監督 ・売買取引の監督等 ・混入化学物質検査の実施及びHP等での結果公表						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	荷受業務整備事業補助金	52,000	
予算 (千円)	事業費計	68,305	82,315	80,244			破碎氷提供業務外部委託	18,977	
	国費・県費						混入化学物質等外部委託検査手数料	1,465	
	市債								
	その他	28,359	38,151	38,831					
	一般財源	39,946	44,164	41,413					
決算 (千円)	事業費計	77,053	74,041			主な 取組 内容 【R5】	・「安全・安心」な生鮮食良品等の取引の適正化と生産及び流通の円滑化を図るため、混入化学物質等外部委託検査を実施した。 ・卸売業者・仲卸業者の財務分析を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	42,539	41,526						
	一般財源	34,514	32,515						
	(執行率)	113%	90%						
人役	正規職員	2.1	2.0	2.1		特記 事項			
	その他			2.0					
	合計	2.1	2.0	4.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	財務状況調査の実施(卸売業者等)		目標	6	6	6	6	—
			実績	6	6			
	現状維持	者	達成率	100%	100%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	安定的市場流通を確保をしつつ、水産物の消費拡大に向けた取組等を行った。						
課題	特に無し。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き水産市場の適正かつ健全な運営を確保するため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	水産市場課	担当G	業務担当	連絡先	951-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	二宮 仁志	リーダー	河野 浩武	担当	田井野 知史	串部 太一

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市水産市場運営協議会負担金		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31242			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			—	—	—	—	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	事業所立地と雇用創出の推進							
主な取組	流通機能の充実		根拠法令	松山市水産市場運営協議会規約				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営							
目的・背景	・市場関係者と開設者が連携し、水産市場の取引の適正化と流通の円滑化を図る。 ・魚離れに歯止めをかけるよう、市場関係者と開設者が連携しながら魚食普及に取り組む。 ・昭和56年度の水産市場の開場以降、場内関係者が連携して市場運営の円滑化を図るため、市場取引、施設整備の取扱い、環境整備等を協議するとともに、市場活性化を図ることを目的に設置した。							
対象・内容	【対 象】 松山市水産市場運営協議会 【事業内容】 三津の朝市「旬・鮮・味まつり」を開催する等、魚食普及に取り組むことで、市場活性化を図り、健全な市場運営を実現する。市場活性化、売買環境の2委員会を設置し、市場取引の適正化、環境整備、市場の活性化等について協議し、市場の正常化及び流通の円滑化と安定供給を図る各種取組みを実施できるよう、松山市水産市場運営協議会に負担金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	松山市水産市場運営協 議会負担金	4,822	
予算 (千円)	事業費計	8,900	8,900	8,900					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	8,900	8,900	8,900					
決算 (千円)	事業費計	936	4,822			主な取組 内容 【R5】	・水産市場内の事業者で「水産市場運営協 議会」を組織し、場内環境整備や消費拡大 などの活性化事業を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	936	4,822						
	(執行率)	11%	54%						
人役	正規職員	1.0	2.0	2.2		特記 事項			
	その他	0.8	0.8	1.3					
	合計	1.8	2.8	3.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	三津の朝市開催協力回数		目標	4	4	4	4	新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、朝市の開催を再開した。	
			実績	0	2				
	現状維持	回	達成率	0%	50%				
成果指標	三津の朝市の来場者数 (1回当たりの平均)		目標	4000	4000	4000	4000	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を控えていたため、再開後の来場者数が目標に到達しなかった。	
			実績	0	3450				
	単年で増	人	達成率	0%	86%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	三津の朝市開催では、目標の来場者数には到達しなかったが、来場者アンケート等で概ね好評をいただいており、松山市水産市場運営協議会と協力して市場の活性化や魚食普及に取り組むことができた。							
課題	今後も、松山市水産市場運営協議会と協力し、より効果的に魚食普及を図ることができるようイベントの充実に努める。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	引き続き魚食普及イベントを通じて市場の活性化に取り組む必要があるため